政治経済しずおか

情報ボックス

◆シニア向けゴルフクラブ一新

ヤマハは6月9日、ゴルフクラブ「inpresX Classic（インプレス・エックス・クラシック）」を一新して発売する。60代以上のゴルファーが遠くに飛ばすための機能を追求したモデルを加え、シニア層の新規顧客の取り込みを図る。

ドライバー＝写真＝はクジラのような新形状「クジラヘッド」を採用。低重心化とたわみ効果で、高い打ち出し角と最適なスピン量を実現した。アイアンにもブレードを薄くした新設計を取り入れ、低重心化を図り、ボールがより高く上がりやすくした。

税込み価格はドライバーが9万4500円、アイアン（4本ｾｯﾄ）11万3400円など。初年度国内販売数はウッド1万2千本、アイアン3千ｾｯﾄを見込む。

◆23日に沼津で知財講演会

県沼津工業技術支援センターと沼津センター協議会は23日午後2時半から、知的財産をテーマにした講演会を沼津市大岡の同センターで開く。聴講無料。

4月に開設された県東部地域技術振興協議会東部地域イノベーションセンターの小林裕樹氏（特許流通コーディネーター）がイノベーションセンターの概略を紹介する。さらに県発明協会知財総合支援窓口沼津支所の中村宏之氏が「競争地位別戦略に基づいた知財戦略の立案」と題し講演する。

問い合わせは沼津工業技術支援センター技術支援担当＜電055(925)1100＞へ。

◆改正ＢＣＰ保証のチラシ作製

県信用保証協会はこのほど、制度改正した「ＢＣＰ（事業継続計画）特別保証」を紹介するチラシ＝写真＝を作製した。東海地震などの災害発生時、事業継続のための融資保証を予約する制度。4月から商工会議所、商工会、中小企業団体中央会が認定するＢＣＰも保証の対象に拡大した。チラシは5万部作製し、各商工団体などで配布している。

◆21日から夏季特別融資

遠州信用金庫は21日から7月末まで、中小企業の運転資金支援のため、夏季特別融資の取り扱いを始める。1企業当たりの融資限度額は5千万円（無担保扱いは1千万円）。保証人は1人以上。返済は5カ月以上の分割。金利は個別に審査して決める。総枠30億円。

車技術展に6社

静銀がサポート　最先端技術披露へ

23日から横浜

静岡銀行が募集した国内最大の自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展」（23～25日、パシフィコ横浜）の合同出展企業に、チタン合金ボルトの興津螺旋（静岡市清水区）など6社が決まった。6社は「静岡テクノフロンティア」と銘打つ合同ブースで、マフラーや電動自転車といった自社製品や、特殊な鍛造法など最先端加工技術を紹介する。

ほかに出展するのは榛葉鉄工所（掛川市）、デイトナ（森町）、産栄工業（菊川市）、スペースクリエイション（浜松市南区）、クリアテック（磐田市）。応募や行内で推薦のあった企業の中から「えりすぐりの独自の先端技術を持った企業」（法人部）を選出したという。

静岡銀行が工業系の技術展へ、取引先の合同出展を企画するのは初めて。次世代環境車など成長が見込まれる分野への参入を支援する。技術展後も専門技術者の派遣や海外進出支援などを行い、新しいビジネスチャンス獲得に向けて、継続的に出展企業を支援していく。

技術展は期間中、国内外の技術者など約7万人の来場が見込まれる。

新「日本平ホテル」

静岡市清水区の日本平山頂で建て替え工事が進む「日本平ホテル」の完成イメージ図。富士山側からの外観

延べ床面積は1万8675平方ﾒｰﾄﾙ。結婚式や国際会議にも対応し、和洋のレストランやラウンジ、5カ所の宴会場、挙式場、スパなども備える。

日本平山頂周辺では基本計画対象区域だけでも33㌶に及ぶ日本平公園整備事業が進んでいる。同ホテルは「文

小笠のトマト、三島のレタス

野菜指定産地に

農水省

県はこのほど、農林水産省の野菜指定産地に、小笠、三島の2産地が指定されたと発表した。告示は7日付。県内産地が指定を受けるのは25年ぶり。

小笠は掛川、御前崎（旧浜岡町）、菊川市、三島は三島市、函南町が対象。小笠は夏秋トマト、三島は冬レタスがそれぞれ指定された。指定産地は、指定された野菜を消費地に安定的に出荷する。一方で、著しく価格が下落した場合、生産者は補給金の交付などを受けられる。

本県の野菜指定産地は小笠、三島を加えて17産地となった。

10時から日本平ホテル開業準備室（電054（335）1131）が、「製造」「事務・化に取り組む県内企業・団体のサークル24組00人が集まった。

このうち、東海支部大会に出場するチームう試行錯誤を重ねたかを、8組が紹介した。

大会の主な結果は次の通り。

【製造部門】地区長賞　タスクフォース計（東京）が担当。建大。各種設備も充実させ、来店者の利便性を高めた。

設計は東京スカイツリーを手掛けた日建設

災害時は緊急参集店舗へ

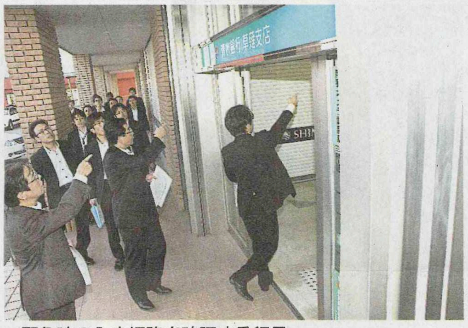
清水銀がBCP訓練　時間外の流れ確認

清水銀行は14～18日、営業時間外の大規模災害を想定した初のBCP（事業継続計画）訓練を「緊急時参集店舗」に指定した県内35の営業店で実施した。

津波被害が大きかった東日本大震災後に見直した新BCPに基づく訓練。行員たちは居住地に近い指定の拠点店舗に集まり、窓口対応の開始までの流れを確認した。

営業開始前の午前5時に東海地震が発生、津波や建物倒壊などで、行員が通常の所属店に通勤が不可能という想定で行った。草薙支店（静岡市清水区）には約40人の行員が自転車や徒歩などで参集。金庫の解錠や入店経路、出金や記帳の役割分担などBCPに沿った一連の作業を確認した。

総務管理部の原田義明部長は「実際には行員が普段の勤務地にたどり着けないケースも予想される。迅速に顧客の要請に応えるようにしたい」と説明。草薙支店の訓練で指揮を執った焼津支店長の福井茂さんは「発電機や出納棚の位置などを確認できた。万一の時にどんな行動をとるべきかイメージがつかめた」と話した。



緊急時の入店経路を確認する行員
＝静岡市清水区の清水銀行草薙支店

スカイツリータウン　天窓に採用

浜松のスカイプランニング

天窓メーカーのスカイプランニング（浜松市、外山勤社長）は18日、同社が開発した建物の屋根に取り付ける採光窓「スカイトップライト」が22日に開業する東京スカイツリータウン（東京・墨田区）の商業施設などに採用されたと発表した。

建物内などで太陽光を照明として有効活用する装置で、天窓のガラス板に中空層シートを併用して直射光を拡散し、均一な明るさを確保する。

一般的な天窓よりも室内温度の上昇を抑える効果もある。

商業施設の設計を手掛けた日建設計から依頼を受け、施設内の「すみだ水族館」の出入り口26カ所などに設置された。同社は「多くの人の目に触れる絶好の場所。自然採光の長所を広くPRしていきたい」とする。5年後の年商目標を約3倍の6億円に置く。

シンガポールで8月に食の商談会

静銀など地銀5行

静岡銀行などシンガポールに駐在員事務所を置く地銀5行は8月22、23の両日、食の商談会を現地のホテルで開く。有力バイヤーとの商談を通じて、販路拡大を支援する。

商談会は2010年に続き2回目。同行の経営者らの生の声を聞こうと全国を巡回して行っている。県内中小・小規模企業経営者や商店街関係者らが、経営力や活力の向上を議家族に変動があった場合の手続き、ごみの捨て方など、多く寄せられる質問約50項目についてQ&A形式で掲載した。ポルトガル語と

静岡側の高速路線株主優待に追加

富士急行

富士急行は株主優待制度を拡充する。5千株以上保有の株主に発行している高速バス株主優待乗車券の対象路線を、現行の山梨県側ほか八十二、北国、千葉、福岡銀行が主催する。食品製造業者や農水産物生産者などを対象とし、各行8社程度、合計40社を募集する。

現地のスーパー、ホテル、商社関係の約100社が来場する。

シンガポールは和食レストランが多く、日本食の人気が高いという。静岡銀行の担当者は「同国進出を足がかりに東南アジアへの販路拡大を目指す企業も多い」と話している。

出展費用は1社当たり約8万円。問い合わせは、同行法人ソリューション営業グループ（電054（345）5411）へ。

岩崎会長を

県経営者協会

県経営者協日、静岡市内で定時総会を開期（2年）満役員を改選し、悟会長を再任会員約17出席した。岩崎あいさつで「外型の経済構造県の活性化には構造の変革が求

大型野菜の数量伸び

東京青果市場案内

都中央の入荷数量は約5000ﾄﾝ、大田市場は約1900ﾄﾝ。野菜全般はもちあいで推移。大型野菜は関東近産地物が降雨の影響で、数量が伸びない。相場はもちあいから強もちあい。洋菜類は荷動きが鈍い。

【パセリ】入荷は千葉産の新物が中心。各産地からの出荷数量が少なく、相場は一段上げている。仲卸などの注文に対応できない状況で、相場（1ｹｰｽ）は強含みで推移する見込み。相1万～9000～1万円。

【アーリーレ知産は数量が順加。佐賀産は減少心。末端消費がいずれも玉流れし販売状況。愛知、佐賀が0～180円、玉250～220、玉200～150。

【セロリ】長初めから始まり生率は2L50%量不足から先週一段上げたが、増えて落ち着い来週から本県産